



# 学校だより

令和8年4月8日



京都市立北総合支援学校



北総合支援学校の校舎のまわりにも春の訪れが感じられる季節となり、新しい一年が始まりました。

このたび、北総合支援学校の校長として着任いたしました藤田昌資<sup>ふじたまさし</sup>でございます。日頃より、本校の教育活動に対しまして、温かいご理解とご支援を賜っておりますことに、心より感謝申し上げます。

今から150年以上前の明治時代、京都の町衆は、「竈金(かまどきん)」と呼ばれる私財を出し合い、日本で初めて、地域の子どもたちが学ぶことのできる小学校(番組小学校)を創設しました。

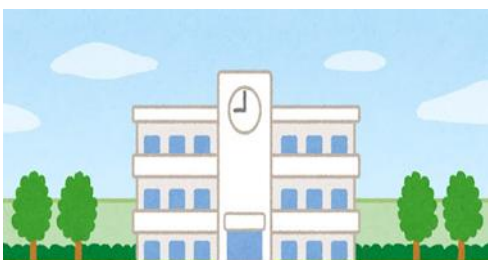
北総合支援学校は、明治2年に上京第二番組小学校として創設され、平成9年3月に127年の歴史に幕を閉じた「成逸小学校」の跡地に、地域制・総合制の総合支援学校として誕生し、本年度で23年目を迎えました。

開校以来、成逸学区をはじめとする地域の皆様のご支援を賜りながら、児童生徒一人一人の教育的ニーズを大切に、「自分から、自分で、自分らしく、みんなとともに、学び合う子どもの育成」という本校の学校教育目標のもと、それぞれの良さや力を伸ばす教育の実現を目指して、実践してまいりました。

開校当初から本校は、子どもを「できる存在」として捉え、できる姿を通して「生きる力」を育むことを大切にしております。

子どもが今できることを大切にし、できることを生かしながら、子どもが伸び伸びと成長できる環境を整えられるように、子どもが話題の中心となるように、そして一人一人の子どもたちが、それぞれ主役となるよう、日々の取組を進めてまいります。

子どもの可能性を信じ、まちの発展を教育の力に託し、私財を出し合い学校をつくった先人に倣い、私たち教職員も、それぞれの力を出し合い、そして、これまで保護者の皆様、地域の皆様とともに積み重ねてきた歩みを大切に受け継ぎながら、子どもの笑顔があふれる学校づくりに力を尽くしてまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。



京都市立北総合支援学校

校長 藤田 昌資